

次回のご案内

第15回 B&G全国サミット

第19回 B&G全国教育長会議

B&G財団では、会議を通じて、
市町村様、教育長様とのネットワークを更に深め、
連携・協力を密にし、地域住民の皆様の健康づくりに
力を注いでいきたいと考えております。

第15回 B&G全国サミット

日程:2023年1月24日(火)

場所:東京都内

対象:地域海洋センター所在市町村の
市町村長様、教育長様



第19回 B&G全国教育長会議

日程:2022年11月8日(火)・9日(水)

場所:東京都内

対象:ブロック連絡協議会幹事教育長様
道府県連絡協議会が推薦する教育長様
地域海洋センター所在市町村の教育長様



—皆様のご参加お待ちしております—

公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

第18回 B&G全国教育長会議

2021年度報告書

公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

目次

第18回 B&G全国教育長会議 概要	P1
主催者 挨拶	P2
正副会長の選任について	P3
基調講演 大阪府立大学 山野 則子教授 「地域とともに取り組むSDGs ～誰一人取り残さない子ども支援の仕組みづくり～」	P4
事例発表および文部科学省の取り組み紹介	P5～6
第18回 B&G全国教育長会議 提言	P7
参加教育長 アンケート集計結果	P8～9
特A評価センター 一覧	P10～11
B&G財団 事業紹介	P12
海洋センター・海洋クラブの魅力を伝える B&G PR大賞	P13

第18回「B&G全国教育長会議」概要

誰一人取り残さない社会実現に向けて ～地域におけるSDGsへの取り組み～

全国42道府県から、教育長ほか過去最多となる168名が出席!

2021年11月9日(火)東京都港区の笹川記念会館にて第18回「B&G全国教育長会議」を開催しました。当日は、B&G海洋センターの所在地42道府県の市町村教育長124名を含む教育関係者等、過去最多となる168名が出席。

本会議では、SDGs17項目に纏わる社会問題から自治体が抱える問題へアプローチいただけるように、大阪府立大学 山野教授の基調講演をはじめ、先進的な取り組みを行っている教育長による事例発表などを実施しました。

各自治体でのコロナ禍における社会問題が浮き彫りになった今だからこそできる学校教育・社会教育両面から問題の解決策を模索し、豊かな社会となるよう共に考えました。

第18回「B&G全国教育長会議」次第

日時:2021年11月9日(火) 13:00～17:15

場所:笹川記念会館4階

- 1.主催者挨拶
- 2.出席者紹介
- 3.正副会長選任
- 4.基調講演「地域とともに取り組むSDGs～誰一人取り残さない子ども支援の仕組みづくり～」
大阪府立大学 学長補佐 人間社会システム科学研究科 教授 山野 則子 様
- 5.トークセッション「地域行政が協働する『まちづくり』と『ひとづくり』」
大阪府立大学 学長補佐 人間社会システム科学研究科 教授 山野 則子 様
大阪府能勢町 教育長 加堂 恵二 様
大阪府能勢町 学校教育総務課 参事 川本 重樹 様
- 6.教育長事例発表
 - 信濃大町の水と環境と「子ども第三の居場所」 長野県大町市 教育長 荒井今朝一 様
 - 菊池市におけるSDGsの取り組みについて 熊本県菊池市 教育長 音光寺以章 様
- 7.文部科学省の取り組み「持続可能な社会の創り手の育成に向けて～ESDを取り巻く最近の動向～」
文部科学省 国際統括官付ユネスコ協力官 新免 寛啓 様
8. B & G 財団事業説明
9. B & G 全国教育長会議「提言」

出席者内訳		
大別	区分	名数
海洋センター関係	教育長	124名
	代理	7名
	随 行	37名
小 計		168名
その他	報道関係	3名
合 計		171名



〈大阪府立大学 山野教授の基調講演に耳を傾ける教育長〉

主催者挨拶

第18回 B&G全国教育長会議 開催にあたり



B&G財団 会長 前田 康吉

本日は「第18回B&G全国教育長会議」を開催させていただきましたところ、公務ご多用のなか、全国から124名の教育長様をはじめ、総勢160名を越える皆様にご出席いただき、心よりお礼申し上げます。大変ありがとうございます。

本日も出席の皆様方におかれましては、昨年から続きます新型コロナの影響により、学校授業や学校行事の調整、子どもたちの心のケアなど、山積する課題にご苦勞も多かった年かと存じます。

近頃は感染者数も激減し、このような対面の会議にも多くの方がご参加いただけるようになり、一昔前の日常を取り戻しつつありますが、引き続き、基本的な事項に気を付けながら生活して参りたいと思っている次第でございます。

さて、本会議のテーマは「誰一人取り残さない社会の実現に向けて ～地域におけるSDGsへの取り組み～」でございます。SDGsに掲げられた17の目標は、2030年そして、その先を生きる子供たちに、明るい未来を残せるよう、日本をはじめ世界が一体となって取り組んでいかなければならない社会課題でございます。皆様の自治体や学校でも、様々な取り組みを始めていることとは思いますが、本日は先進的事例として、「地域とともに取り組むSDGs」と題しまして、大阪府立大学 山野教授に基調講演をいただくとともに、SDGs未来都市に認定された自治体での取組事例を発表いただきます。

本来なら2日間かけて開催するところではありますが、新型コロナ感染予防の観点で1日に短縮して開催し、懇親会は残念ながら実施いたしません、簡単なブレイクタイムを用意しております。せっかくの機会でございますので、情報交換の場として頂ければ幸いです。

結びに、本日の会議が実り多いものとなりますことを期待するとともに、B&G財団への引き続きのご理解、ご協力をよろしくお願い申しあげ、開会の挨拶とさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

「B&G教育長会議」正副会長の選任

本来なら、昨年度が新たな正副会長を選任する時期でありましたが、コロナ禍特例措置として副会長であった永井教育長（広島県安芸高田市）、半田教育長（北海道剣淵町）の任期を1年延期して実施いたしました。

本年度も対面で開催が可能となったことから、新たに3名の正副会長を財団から推薦し、当日出席された皆様の承諾をもって就任いただきました。

【B&G教育長会議 正副会長】 ※任期/2023年度開催の教育長会議開催日まで



会長
関川 義雄 教育長
(千葉県成田市)

「・・・私は、ふれあいる一むが大好きです。悩みを真剣に聞いてくれて少しでも家でのストレスを忘れさせてくれる個性豊かな指導員さん達が大好きです。ふれあいる一むのおかげで大切な友人にも出会えました。・・・」これは、市内の不登校児のために市が開設している「ふれあいる一む21」に通う子から私宛に届いた手紙の一部分です。厳しい家庭環境におかれ、自分の思いを口に出せなかった子が勇気を振り絞って発した「心の声」でした。ちょうど今回の教育長会議で山野則子先生のご講演にあったスクリーニングの重要性を実感する出来事でもありました。この子の実情にもっと早く気づいていれば不登校に陥ることはなかったかもしれない。心の痛みをやわらげることができたかもしれない。と思わずにはいられませんでした。この子は手紙が私に届いたことを知ると、それだけで満足していたとのことでしたが、その声に耳を傾けて学校や行政が動き出せば、自分が声を上げたことで、周りが変わることを実感できるはず。苦しいこと、つらいこと、恥ずかしいことも言える学級・学校づくり、「誰一人取り残さない支援の仕組みづくり」に真剣に取り組んでいくことが重要であるということを、今回の教育長会議での基調講演や事例発表、そして自身の経験も踏まえて改めて強く認識した次第です。



副会長
栗田 英代 教育長
(大分県中津市)

この度、第18回B & G全国教育長会議において副会長を拝命いたしました。世界的に昨年から続くコロナ禍により私たちの生活様式はもとより教育現場においても大きな転換期を迎えております。皆様におかれましても授業や部活動の制限、行事の中止など様々な困難があるかと存じます。しかしながら、「禍を転じて福と為す」というように、皆が知恵を絞ることで今まではなかった、より良いものを新たに創りあげるチャンスだと思えます。また、コロナ禍だからこそやらなければならないこともあります。当市では2021年度、コロナ下により学校のプール授業と市営プールの営業を中止しましたが、海洋センターは市内で唯一プールを開放し市内の子どもたちに向けた「水辺の安全教室」に力を入れてまいりました。子どもたちが水との関わりを学ぶ機会が減っている昨今、この教室を通じ、地域海洋センターが子どもたちの命を守るための重要な場となっていると強く認識しました。引き続き全国の海洋センターのネットワークを活用し、健全で知力、体力、徳力のある人材を育成するべく全力を尽くすとともに皆様のご期待に添うよう努力いたす所存でございます。何卒、前任者同様に格別のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



副会長
和田 潤司 教育長
(岡山県奈義町)

コロナ禍の中、関係者の皆様のご尽力により、第18回「B&G全国教育長会議」が「誰一人取り残さない社会の実現に向けて～地域におけるSDGsへの取り組み～」というテーマで全国124自治体の教育長が一堂に会して開催されました。大阪府立大学山野則子先生のご講演、山野先生と大阪府能勢町のトークセッションは、本町でも大きな課題である長欠、不登校問題解決に向けての取り組みに大きな示唆を与えてくださいました。会議後、能勢町加堂教育長様に視察のお願いをしたところ、年末の大変お忙しい中にも関わらず、快く受け入れていただき、訪問させていただいてより具体的なお話を聞かせていただきました。私にとってB&G教育長会議の大きな魅力の一つが、同じような環境で同じような課題に取り組んでおられる教育長の皆様とつながることができる事です。この度、当会の副会長という大役を担わせていただく事になりましたが、多くの教育長の皆様とのつながりを大切に、精一杯努力して会長を補佐していきたいと思っております。力不足ではございますが、よろしくお願いいたします。

基調講演

地域とともに取り組むSDGs ～誰一人取り残さない子ども支援の仕組みづくり～

大阪府立大学 学長補佐・教授 山野則子氏

コロナ禍で約9割の児童がストレスを抱え、学校への行きづらさを感じている児童も3割を超えており、特にゲーム依存や性的な問題は著しく増加したことなど、深刻化する子どもの孤立問題の現状について説明。

また、大阪府「子どもの生活に関する実態調査」では、等価可処分所得が中央値に満たない困窮度が高い世帯ほど、遅刻をする子どもの割合は高く、授業以外の勉強時間や学習理解度にも影響しており、貧困・孤立⇒虐待⇒問題行動⇒学力低下の負の連鎖が繰り返されることについて言及されました。

すべての子どもを把握することができるのは学校であり、改善策として挙げられたのは、学校でのスクリーニング会議の実施。担任だけでなく、教頭(生活指導)、保健師、スクールソーシャルワーカー(SSW)、スクールカウンセラー(SC)などのメンバーで、校内すべての子どもを確認し、リスクの可能性のある子どもを洗い出し適切な対応を行えるようにすることが大切であると説明されました。

「子どもが声をあげられず周囲が気づかない」「担任のみが問題を抱え込んでしまう」「身近な支援が認識されず必要な子どもに届かない」といった課題を解消する仕組みをつくり、子どもに安心を提供できる、誰一人取り残さない社会システムの実現につなげていくことが重要です。

スクリーニングを実践している教員からは「複数の視点が入ることで、学校での目に見える様子だけでなく、その向こうにある目に見えない家庭状況などへの配慮ができるようになった」「担任が気づいていなかった現状が、他の先生の質問によっておもてに出てくるのが良い」といった声が多く寄せられているとのこと。

定期的なスクリーニング会議を行い、担任の抱え込みをなくし、校内での判断基準やルール、流れを明確にし、決定することが肝要であると提言されました。



事例発表および文部科学省の取り組み紹介

トークセッション 地域・行政が協働する「まちづくり」と「ひとづくり」

大阪府立大学 学長補佐・教授 山野則子氏
大阪府能勢町 教育長 加堂恵二氏
大阪府能勢町 学校教育総務課 参事 川本重樹氏

基調講演でお話いただいた山野教授と、山野教授が開発した「学校による子どものスクリーニング YOSS(Yamano Osaka Screening System)」を平成30年度から導入している大阪府能勢町の加堂教育長、学校教育総務課川本参事によるトークセッション「地域・行政が協働する『まちづくり』と『ひとづくり』」が行われました。

初めに能勢町の概況説明と能勢町小中学校で行われたスクリーニング会議の様子、初年度の成果と課題が示されました。これを基にトークセッションにより、実施の経緯、地域住民の反応、事業に携わった関係者の反応などを掘り下げていきました。

質疑では、福島県柳津町神田教育長から「経済状況などデリケートな家庭環境について学校が保護者に尋ねる際の反応」について質問がありました。山野教授は「保護者の拒否反応は当然の反応である。当事者の立場で共に改善を目指すことを理解してもらうことが必要。問題には学校からだけでなく多面的なアプローチを行う。」旨回答されました。



事例発表 信濃大町の水環境と「子ども第三の居場所」

長野県大町市 教育長 荒井今朝一氏

長野県初のSDGs未来都市指定を受けた大町市は、豊かな水資源を基盤に発電用・灌漑用・飲用・生活用・環境用水として、古くから水を効率的に活用してきました。近年はアルピナウォーター、サントリー天然水など飲料水生産をはじめ、水を活用した地域ブランドが数多く創出されています。

水環境を活かしたスポーツ振興としては、大町市B&G海洋センター艇庫のある木崎湖でのヨット・カヌー体験が盛んであるほか、市内の小学校では水路と水環境の学習にも力を入れています。加えて、誰一人取り残さない子ども支援として、NPOと連携した「子ども第三の居場所 大町拠点」があり、市内の就学援助児童たちがこの拠点で学習・生活習慣を身につけるとともに、様々な体験活動を行っています。学校のある日は放課後に来て、おやつを食べ、宿題をこなし、自由遊びや工作、調理手伝いをして、夕食をとり、歯磨き、お風呂、洗濯を自分たちで済ませて帰宅します。学校のない日は戸外での体験活動を行い、海洋センターでのカヌー教室や川遊び、ジャガイモ・ブルーベリー栽培、調理教室を実施し、新しい学びへの興味・関心、意欲の向上につながる活動を行っています。

また大町市では個人データのやりとりなどがスムーズにできるよう、子育て支援課、学校教育課の職員を兼任させて事業を進めています。来年度以降はこの事業を制度化し、NPO法人に委託するかたちで運営していくことにしています。



事例発表および文部科学省の取り組み紹介

事例発表 菊池市におけるSDGsの取り組みについて

熊本県菊池市 教育長 音光寺以章氏

今年5月にSDGs未来都市指定を受けた菊池市は、自然を守り、自然を活かした穏やかな発展を続けていく、安心・安全の「癒しの里きくち」の実現を目指しています。日本名水百選や森林浴百選、水源の森百選をはじめ6つの日本百選に選ばれた豊かな自然を活かして、市民協働による「まちづくり」プロジェクトを推進しています。

かわまちづくりプロジェクトは、大学等と連携し、市内の3つの河川を活用した市民参画による事業を行うことで、水辺の環境教育・環境保全につながることも、海洋センターが主催する海レク体験・水辺の安全教室を実施しています。

もりまちづくりプロジェクトは、企業や市民による植樹活動などを推進し、中心市街地の空き地を活用した緑地化を行い、緑あふれる景観形成に努めています。はなまちプロジェクトは公園や沿道の空きスペースに市民が花を植えることで、地域コミュニティの活性化を図っています。

また、プラチナ社会(エコロジーで、資源の心配がなく、老若男女が全員参加、心もモノも豊かで、雇用がある社会)の実現に向け、中学生を対象に世界を舞台に活躍する講師陣による講義を実施し、次代を担うグローバル人材の育成にも力を入れています。

今後は、災害に強いまちづくりのため、海洋センターを拠点とした防災教育を推進していきたいと考えています。



講演 持続可能な社会の創り手の育成に向けて ～ESDを取り巻く最近の動向～

文部科学省 国際統括官付ユネスコ協力官 新免寛啓氏

ESDは持続可能な社会の創り手の育成を通じ、SDGsすべてのゴールの実現に寄与するものです。2002年「持続可能な開発に関する世界首脳会議」において、我が国が提唱した考え方で、それ以降ユネスコを主導機関として国際的に推進されています。

学校教育においては、小学校から大学に至るまでのすべての教育段階において推進されており、新学習指導要領や第三期教育振興基本計画にもESDの目的である「持続可能な創り手の育成」が掲げられています。文部科学省および日本ユネスコ国内委員会は、国内に1,120校あり、世界最多の加盟校数を誇るユネスコスクールをESDの推進拠点と位置付け、活動に対する支援を行っています。

ESDを実践した加盟校の教員の活動調査では、「教科領域を超えて横断的に取り組み、カリキュラムを工夫するようになった」「教員が積極的に地域の方々と交流し、双方の信頼関係が深まった」「学校全体でESDに取り組む機運が高まった」という結果が約6割の学校で出ています。



第18回 B&G全国教育長会議 提言

「B&Gプランを推進する提言」

第18回

一. SDGs達成に向けた取り組みの促進

SDGsの達成に向け、学校教育、社会教育の両面から海洋センターや各種財団事業を積極的に活用し、持続可能な地域社会の創り手を育てよう

- 一. 自然体験活動を実践する「指導員の養成」と「B&G指導者会の設立」推進
- 一. 地域と学校の連携強化
- 一. 海洋性レクリエーション事業の推進
- 一. 親子・家族の絆の推進
- 一. 海洋センター・クラブの活用
- 一. 環境・防災・水辺の安全教育の推進
- 一. すべての子供たちへの体験機会の提供
- 一. 誰もが参加できる海洋センター活動の推進
- 一. 海洋教育の積極的推進
- 一. 変化に適応する「生きる力」の育成

18回目を迎えた「B&G全国教育長会議」では新たに国連で定められたSDGsへの先進的な取り組みをご紹介させていただきました。17あるゴールに対し、どのように進めば良いのか、また、財団事業や海洋センターを通して様々な取り組みをすべての人へ提供していくことの重要性を提示できたものと感じております。

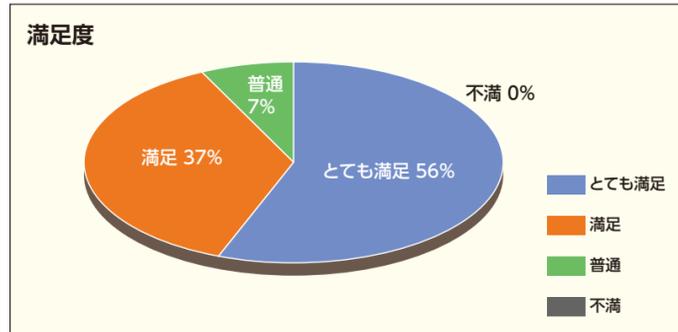
これから各地域の特性を活かしながら、目標達成に向けて取り組みを推進していくことが確認されました。



参加教育長 アンケート集計結果

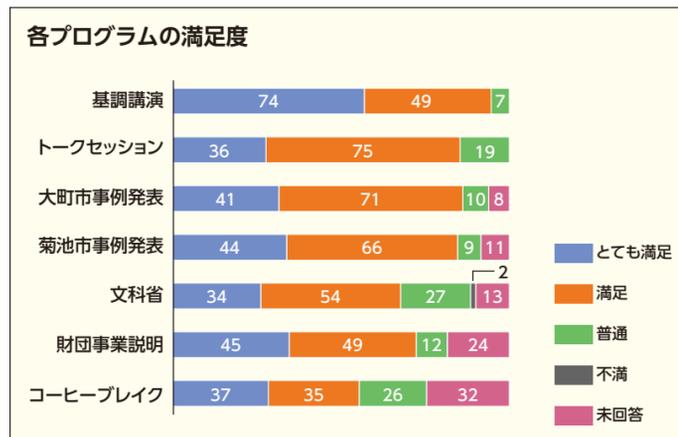
1 90%を超える参加者の満足度

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染防止策を講じ、2日間の予定を1日間に短縮して開催。交流会も中止としましたが、参加した多くの教育長様から好評の声を多く聞くことができました。



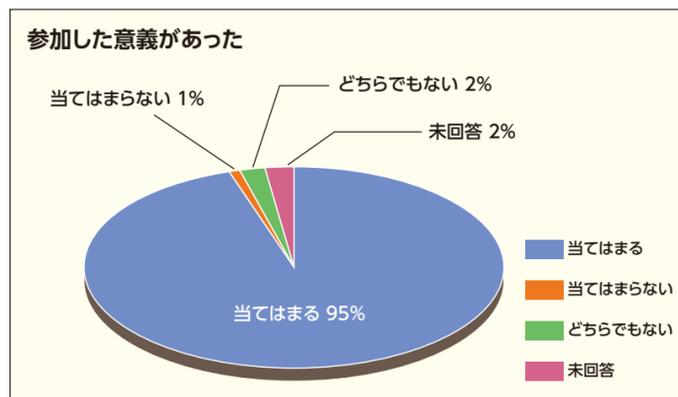
2 各プログラムの満足度

全体的に高い満足度を得ているが、特に基調講演に関しては95%の教育長様が「とても満足」「満足」と回答しており、現在の教育現場の課題に適したテーマを設定できたことが伺えました。また、合わせて事例発表も実際に取り組んでいる現場の声を伝えることで、より具体的な取り組みを提示でき、好評を得ることができました。



3 参加した意義について

コロナ禍ではありましたが、実際に参加した意義を感じているかを聞いたところ、対面での開催や内容などを含めてほとんどの教育長様が「当てはまる」と回答されました。しかし、予想を超える参加があったことから、サテライト会場を設置せざるを得ない状況になってしまい、ご不便をおかけしました。



教育長会議 感想 抜粋

久しぶりに対面で各地の教育等と話し合うことができ、自分自身の職務に対し改めて意欲的に取り組む勇気を頂くことができました。

「誰一人取り残さない」という理念を具現化する「スクリーニング」の紹介ありがとうございました。気になる子の生活実態を可視化することは、全国共通の課題です。

本日で講演いただきましたスクリーニングの手法の活用はもとより、何より子ども自身が「こまった!」と言える環境がつかれるように第三の居場所も活用していかねばならないと教えられました。とてもよい刺激をいただきました。

基調講演、事例発表は各市町村の取組に新たな視点や考え方を与えてくれるとても有意義な機会となっています。全国各地でがんばっておられる教育長にお会いでき、心強く思いました。

「教育長として研修が受けられる。」言い換えれば資質・能力を高められる、数少ない貴重な機会です。ご苦労もあるかと思いますが、どうぞ今後もよろしくお願いします。

今回初めて参加させて頂きましたが、会議の内容の充実や全国の教育長の前向きな姿勢に感動致しました。来年以降も参加させて頂きたいと思いますので、よろしくお願いします。

細部まで配慮いただき意義ある時間が過ごせました。多様で新鮮な情報に触れることができました。人口減少の話題が多く出されました。人口3,000人を切った本町は、町の維持・活気の創出は未来に向けた大きな課題です。極小自治体や高齢化の特に進んだ自治体の好事例に触れ意欲を高めたいと願います。また国の今後の住み分け(地方維持)のビジョンを伺いたいと思っています。

スクリーニングの取組はとても参考になりました。当町でも支援会議やケース会議をさかんに行っていますが、既に課題が表面化しているケースが多く、今回のお話を伺って30%に及び子ども達に対応するという考え方はとても参考になりました。

山野先生による基調講演、さすが福祉の専門家である生活に密着した児童生徒の問題解決に向けてとても勉強になりました。諸課題が山積する現代ですが、本気で取り組まなければならない教育をご示唆して頂きました。B&G財団の先見性と行動力に改めて素晴らしさを感じました。日頃からのご支援の数々、本当にありがとうございます。

2020年度 海洋センター評価 評価一覧

■ 2020年度 海洋センター評価「特A」評価一覧 322か所/466か所

No.	ブロック	道府県	センター名	連続回数
1	北海道	北海道	砂川市	13
2			小平町	
3			厚岸町	10
4			せたな町	12
5			剣淵町	11
6			大樹町	13
7			鷹栖町	12
8			斜里町	10
9			愛別町	12
10			遠別町	
11			新篠津村	
12			大空町東藻琴	11
13			北竜町	
14			下川町	
15			東神楽町	
16			名寄市風連	10
17			積丹町	12
18			名寄市	
19			虻川町	
20			長万部町	
21			上富良野町	
22			東川町	
23			美幌町	12
24			大空町女満別	11
25			石狩市	14
26			浦臼町	11
27			秩父別町	
28			沼田町	10
29			岩見沢市栗沢	
30			苫前町	10
31			滝川市	19
32			古平町	11
33			室蘭市	
34			弘前市	10
35			五所川原市市浦	
36			平川市尾上	
37			鶴田町	8
38	南部町名川	18		
39	平内町			
40	五所川原市金木			
41	六戸町	11		
42	弘前市岩木			
43	山田町			
44	久慈市山形	12		
45	一関市東山	9		
46	岩泉町			
47	洋野町種市			
48	大船渡市三陸			
49	九戸村			
50	普代村			
51	奥州市前沢	9		
52	花巻市東和			
53	一関市藤沢	8		
54	陸前高田市			
55	登米市中田			
56	亘理町	12		
57	松島町			
58	川崎町	12		
59	大畑町	11		
60	大崎市松山			
61	蔵王町	14		
62	登米市迫			
63	加美町中新田			
64	能代市			
65	湯上市天王			
66	男鹿市	9		
67	由利本荘市西目			
68	由利本荘市内内			
69	八郎潟町			
70	大仙市神岡			

No.	ブロック	道府県	センター名	連続回数
71	東北	秋田	大湯村	
72			由利本荘市由利	
73			にかほ市象潟	11
74		山形	舟形町	9
75			酒田市平田	10
76		福島	柳津町	
77			小野町	14
78			楢町	8
79			田村市滝根	
80			かすみがうら市千代田	
81			小美玉市玉里	
82			八千代町	
83		茨城	北茨城市	9
84	石岡市			
85		五霞町	11	
86		小美玉市小川		
87		常陸太田市水府		
88	栃木	下野市国分寺	10	
89		那須烏山市南那須	11	
90		さくら市喜連川		
91		那須塩原市塩原		
92		芳賀町	15	
93	群馬	みなかみ町新治		
94		明和町	14	
95		石狩市戸田	14	
96	埼玉	吉見町		
97		幸手市		
98		嵐山町		
99		久喜市栗橋	18	
100		松伏町	11	
101		白岡市	11	
102		いずみ市		
103	千葉	御宿町		
104		横芝光町横芝	13	
105		香取市小見川	11	
106		大多喜町	11	
107		香取市栗原		
108		南房総市千倉		
109		成田市大栄	8	
110		香取市山田		
111		鏡南町	12	
112		横芝光町光	13	
113	新潟	胎内市中条	12	
114		佐渡市小木		
115		燕市	9	
116		上越市頸城		
117		糸魚川市能生		
118		新潟市中之口		
119		新潟市味方		
120		新潟市新津		
121		佐渡市羽茂		
122	北陸	花巻市東和	10	
123		南砺市福野	14	
124		富山市八尾		
125		穴水町	13	
126	石川	七尾市		
127		志賀町富来	11	
128		白山市鶴来		
129		永平寺町松岡		
130		勝山市		
131	福井	あわら市金津		
132		大野市	10	
133		坂井市春江		
134		坂井市丸岡		
135	中部	甲州市勝沼		
136		山梨市牧丘	11	
137		南アルプス市白根	11	
138		甲斐市敷島	10	
139		甲斐市双葉	11	
140		甲州市塩山	11	

No.	ブロック	道府県	センター名	連続回数
141	長野	長野	大町市	11
142			下條村	
143			白馬村	9
144			飯島町	
145			長和町和田	
146			上松町	
147			生坂村	
148			飯綱町三水	
149			松本市波田	12
150			可児市	14
151			恵那市明智	
152			津山市加茂	9
153				八百津町
154	岐阜	恵那市山岡		
155		中津川市福岡		
156		御高町	10	
157		富加町		
158	静岡	中津川市加子母	10	
159		中津川市付知	10	
160		掛川市大東	9	
161	中部	掛川市	13	
162		川根本町本川根		
163		牧之原市相良	11	
164		御前崎市		
165		沼津市戸田		
166		浜松市三ヶ日		
167	愛知	新城市作手	11	
168		東栄町	11	
169		清須市春日		
170		西尾市一色		
171	三重	豊川市小坂井		
172		大台町		
173		いなべ市大安		
174		大紀町大内山		
175		桑名市長島	11	
176		伊勢市御園		
177		菟野町	11	
178		熊野市紀和	12	
179		志摩市志摩	8	
180		伊賀市大山田		
181		志摩市浜島		
182		亀山市関	11	
183	滋賀	野洲市中主	11	
184		米原市山東	13	
185		多賀町		
186		高島市高島		
187		甲賀市甲南		
188		米原市伊吹	11	
189		長浜市浅井		
190		高島市今津	13	
191		甲賀市甲賀		
192	大阪	堺市美原	10	
193		千早赤阪村		
194		南あわじ市南淡	14	
195	近畿	穴栗市千種		
196		新温泉町浜坂		
197		豊岡市出石		
198		養父市おおや	9	
199	兵庫	上郡町	13	
200		丹波篠山市		
201		豊岡市竹野		
202		香美町香住	13	
203		姫路市家島		
204		芦屋市	9	
205		猪名川町	12	
206	和歌山	串本町	12	
207		鳥取市	10	
208		鳥取市気高		
209	中国	鳥取市鹿野		
210		北栄町北条	11	

No.	ブロック	道府県	センター名	連続回数	
211	中国	鳥取	伯耆町岸本	11	
212			島根	松江市松江	
213				江津市桜江	12
214				浜田市三隅	12
215				雲南市加茂	15
216				美郷町邑智	
217				松江市宍道	8
218				岡山市建部	
219				備前市吉永	9
220				新見市哲多	
221				井原市美星	
222				津山市加茂	9
223					美作市作東
224	岡山	井原市井原		10	
225		奈義町	11		
226		瀬戸内市長船			
227	広島	瀬戸内市邑久	14		
228		矢掛町	12		
229		鏡野町	12		
230	山口	赤磐市吉井	11		
231		新見市大佐	269		
232		府中市	17		
233	徳島	東広島市黒瀬	9		
234		呉市蒲刈			
235		安芸高田市高宮			
236		尾道市向島			
237		北広島町大朝			
238		安芸高田市八千代			
239		安芸高田市美土里			
240		北広島町芸北			
241		東広島市安芸津	9		
242		萩市むつみ			
243		田布施町			
244		長門市日置			
245		周防大島町	15		
246	四国	阿南市那賀川			
247		徳島市	13		
248		阿南市			

No.	ブロック	道府県	センター名	連続回数	
249	四国	徳島	牟岐町		
250			美波町由岐		
251			那賀町藤敷	10	
252			海陽町海南		
253			さぬき市津田		
254			小豆島町内海	12	
255			さぬき市寒川		
256			三豊市高瀬		
257			綾川町綾上		
258			高松市国分寺		
259			三豊市財田		
260				三木町	
261			香川	今治市吉海	
262	久万高原町久万				
263	松山市中島	14			
264	愛媛	今治市大三島			
265		鬼北町広見	8		
266		西条市丹原			
267	愛南町御荘	17			
268		今治市朝倉			
269	高知	津野町東津野	12		
270		府中市	13		
271		宗像市玄海			
272		宮若市宮田			
273	福岡	大任町			
274		築上町築城	8		
275		みやこ町豊津			
276		久留米市三瀬			
277		川崎町			
278	北九州	福岡市金田			
279		築上町桂木			
280		朝倉市甘木	12		
281		太良町	8		
282	佐賀	神埼市	13		
283		江北町			
284		鹿島市			
285		みやき町北茂安			
286	長崎	南島原市加津佐			

No.	ブロック	道府県	センター名	連続回数	
287	北九州	長崎	佐世保市小佐々		
288			南島原市西有家		
289			平戸市生月		
290			時津町	13	
291			大分	杵築市	
292				由布市湯布院	
293				日田市天瀬	
294				中津市那馬溪	9
295				佐伯市上浦	
296				国東市国見	
297				竹田市直入	
298				由布市挾間	
299			熊本	長洲町	11
300	津奈木町	10			
301	湯前町	12			
302		美里町砥用			
303		菊池市忍水			
304		玉名市岱明			
305		南関町			
306		南阿蘇村白水			
307		宇城市三角			
308		菊池市旭志			
309	宮崎	宮崎市田野			
310			いちき串木野市	14	
311			長島町	13	
312	鹿児島	阿久根市	9		
313			鹿屋市串良		
314			さつま町	12	
315		日置市東市来	13		
316		天城町	10		
317		南大隅町佐多			
318		南さつま市坊津	8		
319		与論町	12		
320	沖縄	奄美市笠利			
321		伊江村	10		
322		名護市			

※ 10年以上連続特A 9年連続特A 8年連続特A

■ 2020年度 海洋センター評価「A」評価一覧 83か所/466か所

No.	ブロック	道府県	センター名	
1	北海道	北海道	枝幸町歌登	
2			和寒町	
3			青森	東北町
4				中泊町中里
5				八幡平市松尾
6			岩手	涌谷町
7				栗原市築館
8				仙台市泉
9			宮城	にかほ市金浦
10				横手市十文字
11				湯上市飯田川
12			福島	三種町八電
13				本宮市白沢
14	茨城			
15	栃木	笠間市岩間		
16		鹿沼市栗野		
17		群馬		
18	群馬	板倉町		
19		観ヶ島市		
20		長南町		
21	新潟	阿賀町三川		
22		阿賀町津川		
23		阿賀町安田		
24	北陸	阿賀町上川		
25		富山		
26		高岡市福岡		
27	福井	越前町朝日		
28		若狭町三方		
29		山梨		
30	中部	中央市玉穂		
31		長野		
32		御代田町		

No.	ブロック	道府県	センター名	
29	中部	徳島	飯綱町牟礼	
30			伊予市高遠	
31			長野	山形村
32				松本市四賀
33				阿南町
34			岐阜	高山市国府
35				高山市清見
36				磐田市竜洋
37			静岡	松崎町
38				掛川市大須賀
39				袋井市袋井
40			三重	伊賀市阿山
41				近江八幡市安土
42	南丹市園部			
43	京都	宮津市		
44		京丹波町瑞穂		
45		京丹波町和知		
46	大阪	能勢町		
47		市川町		
48		丹波市山南		
49	兵庫	淡路市東浦		
50		宍粟市波賀		
51		山添村		
52	和歌山	曾爾村		
53		広川町		
54		鳥取		
55	中国	鳥取市佐治		
56		島根		

No.	ブロック	道府県	センター名	
57	中国	島根	出雲市平田	
58			岡山	真庭市蒜山
59				笠岡市
60				浅口市鴨方
61			広島</	

B&G財団事業紹介

子ども第三の居場所

「子ども第三の居場所」とは、子どもたちが孤立しやすい放課後の時間に、家庭や学校以外の場で、信頼できる大人や友達と安心して過ごし、将来の自立に向けて「生き抜く力」を育む場です。B&G財団では、2019年度からこの事業に着手しており、現在では全国15自治体16か所で運営が開始されています。本事業につきましては、今後とも日本財団と連携し、全国500カ所の設置に向けて取り組むこととなっています。



海ごみゼロフェスティバル

海ごみゼロフェスティバルは、日本財団、内閣府総合海洋政策本部、国土交通省が推進する「海と日本プロジェクト」の一環として、国民一人ひとりが海ごみの問題を自分ごと化し、「これ以上海にごみを出さない」という社会全体の意識を高めるために、毎年、全国各地の海洋センター・クラブで実施しています。来年度は、新たに舟艇を活用した清掃活動や、学習効果を高めるワークショップ実施に係る支援も予定しています。



学習と体験による子育て支援事業「BG塾」

夏休みや冬休みなどの長期休暇中、海洋センターが子どもの居場所となって宿題や自由研究などの「学習」と、マリンスポーツ・海遊びなどの「体験活動」を提供し、共働きやひとり親家庭などの子育てをサポートする取り組みです。次年度も引き続き募集いたしますので、ぜひ実施をご検討ください。



海洋センター・海洋クラブの魅力を伝える B&G PR大賞

B&G財団は、海洋センター・海洋クラブが自らその魅力を発信する取り組みを表彰する「B&G PR大賞」を毎年開催しています。2021年度は「まちレポの部」「おもてなしの部」「やらかし川柳の部」の3部門に5,067点の応募をいただきました。

有識者・専門家による審査委員会において選ばれた、2021年度の各部門の最優秀賞・優秀賞の中から、「おもてなしの部」の入賞作品を紹介します。

《おもてなしの部》

海洋センター・海洋クラブの玄関・ロビーの装飾や展示など、利用者をもてなす取り組みを募集した「おもてなしの部」。審査対象の70作品の中から最優秀賞1点、優秀賞10点が選ばれました。

	申請者	作品内容
最優秀賞	香川県 池田海洋クラブ	海ごみ回収箱 カヤック倉庫を華やかにし、海ごみの意識を高めるため設置
	北海道 浦臼町海洋センター	ハロウィン カボチャ苗の植付けから収穫まで子どもたちと行い、ハロウィンの飾り付け
優秀賞	岩手県 岩泉海洋センター	ブイ花プランター 古い漁業用のブイを加工してプランターにアップサイクル
	宮城県 巨理町海洋センター	愛犬イベント 愛犬家をターゲットにイベント開催。カヌーに乗った愛犬との写真などをプレゼント
	宮城県 川崎町海洋センター	聖火トーチ展示 東京五輪のトーチや聖火ランナーのユニフォームなどを展示
	福井県 大野市海洋センター	ブルーイルミネーション 夏季の夜間利用に合わせて、地元中学生が飾り付け
	岐阜県 川辺町海洋センター	グリーンカーテン 食べる楽しみもあるパッションフルーツのグリーンカーテン
	鳥取県 鳥取市海洋センター	幼稚園作品展 鳥取第五幼稚園の作品展を開催
	島根県 雲南市加茂海洋センター	地図づくり 50m泳ぐまたは歩くともらえるピースを集めて、日本地図完成を目指す利用促進キャンペーン
	岡山県 美作市作東海洋センター	水中生物写真展 指導者が撮影した中国、四国地方の海中生物の写真を展示
	広島県 北広島町芸北海洋センター	壁面装飾 きれいな海を願い、子どもたちで「ぎょぎょらんど」を制作



B&G財団は地域に笑顔と元気を届ける取り組みを応援します！